

**製品名: ZDHHC9 ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab20075**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:20000-1:40000
分子量	41kDa

**抗原情報**

遺伝子名	ZDHHC9
別名	ZDHHC9; CXorf11; ZDHHC10; ZNF379; ZNF380; CGI-89; Palmitoyltransferase ZDHHC9; Zinc finger DHHC domain-containing protein 9; DHHC-9; DHHC9; Zinc finger protein 379; Zinc finger protein 380
遺伝子 ID	51114.0
SwissProt ID	Q9Y397
免疫原	抗血清はヒト ZDHHC9 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 315-364

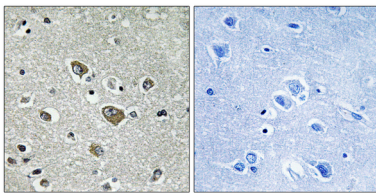
**背景**

この遺伝子は、ジンクフィンガー DHHC ドメイン含有タンパク質ファミリーのメンバーである膜貫通タンパク質をコードしています。コードされたタンパク質はゴルギンサブファミリー A メンバー 7 と複合体を形成し、パルミトイル基転移酵素として機能します。このタンパク質は HRAS および NRAS を特異的にパルミトイル化します。この遺伝子の変異は、X 連鎖性精神遅滞と関連しています。選択的スプライシングにより、同じタンパク質をコードする複数の転写バリエーションが生成されます。[RefSeq 提供、2010 年 5 月]触媒活性: パルミトイル CoA + タンパク質-システイン = S-パルミトイルタンパク質 + CoA。、ドメイン: DHHC ドメインは、パルミトイル基転移酵素活性に必要です。、機能: ZDHHC9-GOLGA7 複合体は、HRAS および NRAS に特異的なパルミトイル基転移酵素です。、類似性: DHHC パルミトイル基転移酵素ファミリーに属します。ERF2/ZDHHC9 サブファミリー。、類似性: DHHC 型ジンクフィンガーを 1 つ含む。、サブユニット: GOLGA7 と相互作用する。、組織特異性: 腎臓、骨格筋、脳、肺、肝臓で高発現。胸腺、脾臓、白血球では発現しない。、

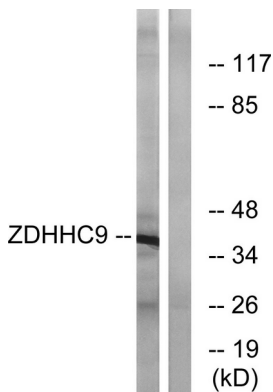
## 研究分野

シグナル伝達; シグナル伝達経路; G タンパク質シグナル伝達; 低分子 G タンパク質; Ras ファミリー; がん; シグナル伝達; G タンパク質シグナル伝達; 低分子 G タンパク質; Ras ファミリー; 腫瘍バイオマーカー

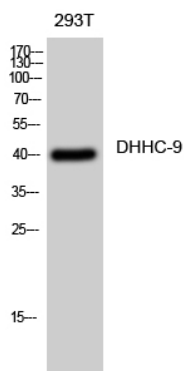
## 画像データ



ZDHHC9 抗体を用いたパラフィン包埋ヒト脳組織の免疫組織化学染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした状態。



COLO 細胞ライセートの ZDHHC9 抗体を用いたウェスタンブロット解析。右レーンは合成ペプチドでブロッキングされている。



1: 1000 に希釈した DHHC-9 ポリクローナル抗体を用いた 293T 細胞のウェスタンブロット解析

